

2016年11月22日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社マイティネット
株式会社イノベーション・ファーム

国内の異なるクラウドストレージにデータを分割し、秘匿性の高いデータ保存サービスを実現！

株式会社マイティネット（本社：広島県広島市、代表取締役社長：渡辺 泰朗、以下「マイティネット」）は、株式会社イノベーション・ファーム（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山田 徳行、以下「イノベーション・ファーム」）と分散 PortKey のライセンス OEM 契約を締結し、マイティネットのインフラ基盤に秘密分散技術にてデータを複数に分割し、異なるクラウドストレージを安全に活用できるセキュリティサービスを構築し、11月22日より提供を開始いたします。

Ardac バックアップシリーズIV[秘密分散情報保管サービス（クラウド版）]は、基本情報を設定するだけで、機密情報や企業が保有している重要なデータをクラウド～オンプレミスまで保管先の環境を問わず、安全な形態での保管を実現するセキュリティクラウドソリューションです。秘密分散技術によって3分割されたデータ(ファイル)は、オリジナルデータ（ファイル）を非常に細かい部分で分解しており、分割された各々のピース（一断片）はオリジナルデータの情報を復元するための十分な情報を持ち得ておらず、それぞれが全く異なった情報の持ち方をしているので、絶対に原本のデータを特定できないという特性を持っております。よって、仮に一断片だけを窃取(漏洩)されたとしてもオリジナルデータを絶対に復元することはできません。また、3分割する際にそれぞれのデータ(ファイル)に冗長性を持たせておりますので、仮に一つの断片が無くなったとしても残りの2つの断片を合わせる事によってオリジナルデータを完全に復元することができます。

平成28年1月から利用開始となった「マイナンバー制度」におけるデータの保管期間は7年、建設図面等のデータの保管期間は10年以上で、建設確認に不可欠な証拠写真の枚数も増加の一途です。日本国内で発生する主な放射線検査（CT、MRI、CR）の画像データ量は、年間5PB（ペタバイト：1ペタバイトは1000TB）と推測されております。医療技術の高度化や画像診断機器の高性能化により、更に発生する画像データ量は増加の一途をたどっています。医療施設の診療データは個人(機微)情報であり、個人を特定できる情報が含まれております。今後保存期間は20年と長期化の傾向にあります。これらのデータ＝情報に対する価値は増大しており、サイバー攻撃の被害も拡大しております。

東日本大震災や、今年発生した熊本や鳥取の震災では多くの施設が倒壊し、貴重なデータが数多く消失する事例も発生し、天災等での被害も年々増加しております。今後はデータ＝情報を価値のある情報に転換できる、つまり情報を効果的に活用できる企業が新たなる価値を創り出す事ができます。しかし、益々増大するデータを継続して保管し続けるために、ストレージ機器の購入・設置や維持管理・運用コストが重荷になる事も間違いありません。管理・運用コストを削減し、データ漏えいや消失などのリスクを最小化することが急務です。

Ardac バックアップシリーズIV[秘密分散情報保管サービス（クラウド版）]は、信頼性の高いデータの保存先も含めてサービスとして提供しております。データ保存先は、マイティネット、提携先クラウドサービスが利用できます。秘密分散技術によって3分割されたデータ(ファイル)は、各クラウド事業者の国内データセンター（国内3拠点）に、単独では復元できない形で分割されて保存されるため、秘匿性の高いデータを物理的な拠点も分散し、更にはオンプレミスとは違い、ハードウェアの故障等によるデータの消失はありません。夫々が冗長構成を取り、バックアップを行っております。月額5万（3拠点ディスク容量に応じて別

途)からのコストでBCP対策をも兼ねて安全にデータを保管することが可能です。(下記「図1」参照)

また、ArdacバックアップシリーズIV[秘密分散技術保管サービス(クラウド版)]はサービスも冗長構成を取っておりますので、サービスが停止することはありません。3分割されたデータ(ファイル)を復元する為のキーファイルも任意の安全な場所に保管できますので、震災等による施設が利用できなくなったとしても、秘密分散技術によって3分割されたデータ(ファイル)を用いて、データの復元方法もご用意しております。(下記「図2」参照)

今後は、中小企業などが直面しているマイナンバーなどが含まれた機密情報の取り扱い・保管に関するソリューションを皮切りに、建設現場や設計事務所などで用いられる建設図面等の機密情報や、医療施設の診療および医療画像データの保管なども含めて、ソリューション展開いたします。

<各社からのエンドースメント>

【国立研究開発法人 産業技術総合研究所の技術ご担当者からのコメント】

秘密分散技術は分割された一断片からは元データを復元することは不可能です。分断された一断片には元データの復元に必要な情報が揃っておりませんので、一断片だけでは情報漏洩は起こりません。データセンター(クラウドストレージ)等の外部機関にデータを預けたとしても安全です。情報保護と言う観点から非常に有効的な技術であり、クラウドの利点を最大限に活用できる技術です。

<企業情報>

【マイティネットについて】 (<http://www.mighty.co.jp/>)

社名：株式会社マイティネット (Mighty Net Co.,Ltds,)

代表者：代表取締役社長 渡辺 泰朗

事業内容：当社は昭和50年に地元金融機関やコンピューターメーカー、地元有力企業から出資をいただき、情報処理サービス会社として設立されました。

創業以来、銀行など金融機関のシステム構築・運用を中核事業とし、自治体などのデータ作成や受託計算といったアウトソーシング事業をもう一つの柱として、幅広く事業を展開してまいりました。弊社は、クラウドサービスの商品・機能拡充を積極的に推進し、価値のある商品・サービスの提供を通して「お客様、地域・社会の発展に貢献すること」を目指し、多様化するお客様ニーズに的確にお応えできる様邁進してまいります。

【イノベーション・ファームについて】 (<http://www.innov-firm.co.jp/>)

社名：株式会社イノベーション・ファーム (Innovation firm Co.,Ltd)

代表者：代表取締役社長 山田 徳行

事業内容：秘密分散技術の研究並び技術を活用したアプリケーション及びサービスの企画・開発・販売、PKI関連技術を活用したアプリケーション及びサービスの企画・開発・販売。

株式会社イノベーション・ファームは、重要な情報資産の保護やBCP対策をクラウドストレージの安全性を高め、その効果を最大限に引き出す秘密分散技術をコアとした分散PortKey(ミドルウェア)を開発し、データのバックアップにおけるプラットフォームの構築を推進しています。

<本件に関する問い合わせ>

■株式会社マイティネット

住所：広島県広島市西区草津新町 1 丁目 21-35 広島ミクシスビル

電話：082-501-0369

担当：中山，和手

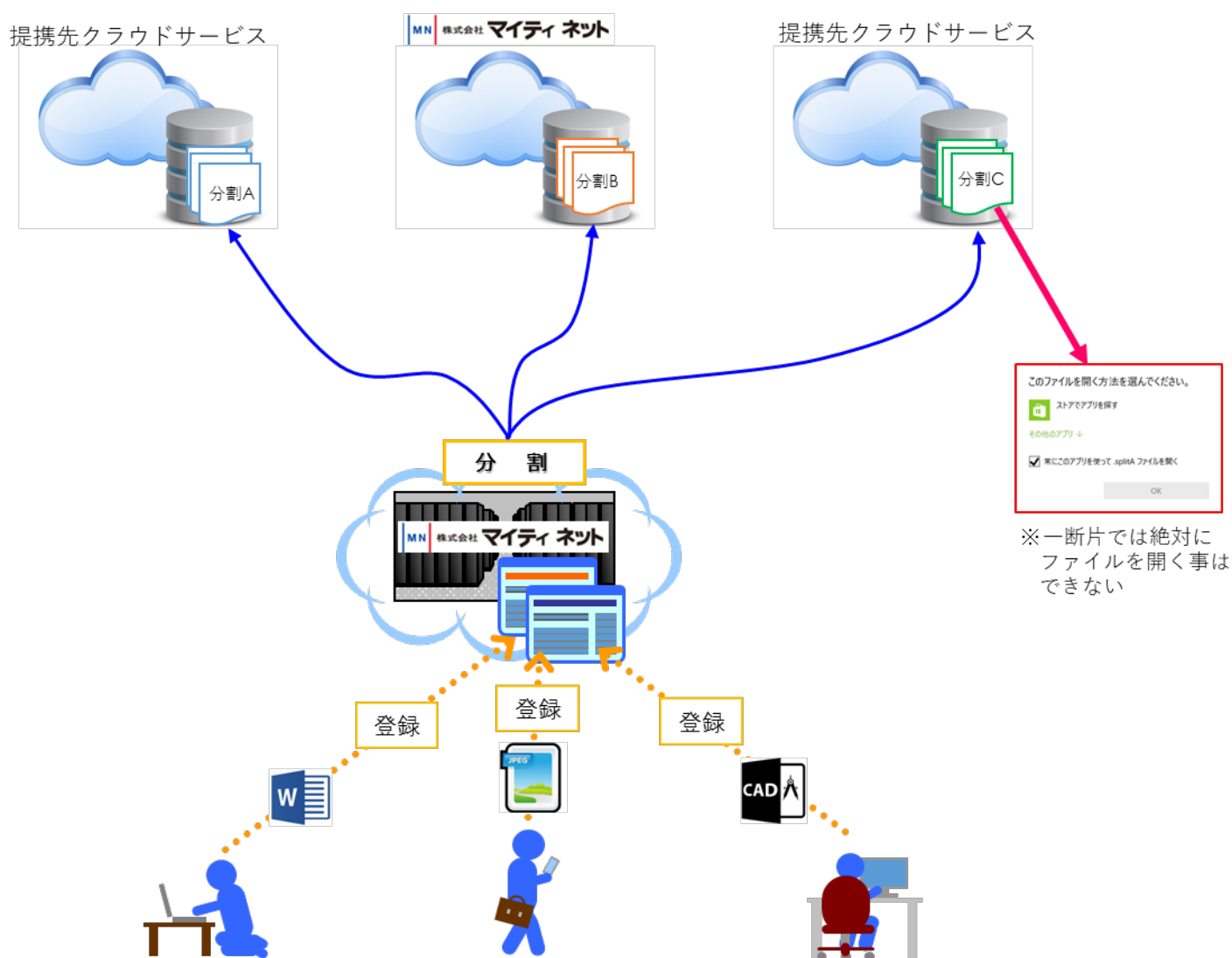
■株式会社イノベーション・ファーム

住所：東京都千代田区岩本町 1-12-4 大洋ビル 3 階

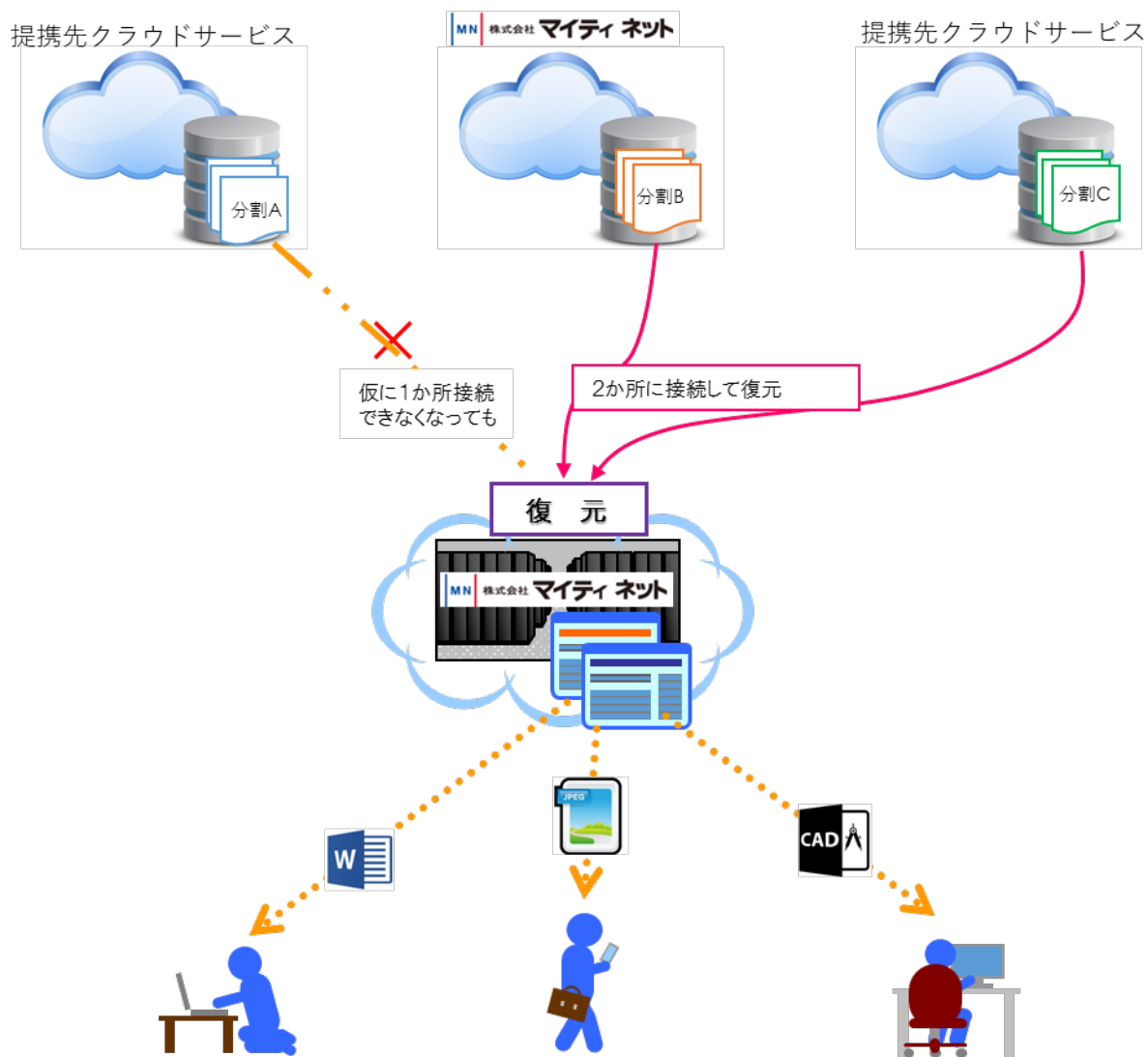
電話：03-5823-4398

Mail：support@innov-firm.co.jp

担当：山田



マイティネット Ardac バックアップシリーズIV[秘密分散情報保管サービス(クラウド版)]から各クラウドストレージへの分割保管イメージ (図 1)



1箇所のクラウドストレージに接続が不可能になっても、マイティネット Ardac バックアップシリーズIV[秘密分散情報保管サービス(クラウド版)] はファイルの復元は可能 (図 2)